

平成 27 年度 広島大学 DP・DR を認定

～ 教授職 10 人、若手教員 17 人 ～

広島大学では、「特に優れた研究を行う教授職（DP：Distinguished Professor）および若手教員（DR：Distinguished Researcher）の認定制度を平成 25 年 2 月 1 日に創設し、重点的に研究支援を行っています。

平成 27 年度広島大学 DP・DR を別紙のとおり認定しました。
今回が 2 回目の認定となります。

DP・DR の認定は、発表論文のインパクトファクター、外部資金獲得状況、特に優れた業績を上げた者に与えられる学術賞受賞歴などのエビデンス（客観的証拠）など分野特性に応じて多面的な指標により選定しています。

DP・DR に認定されると、研究時間確保を目的に、研究に専念できる環境作りとして、研究スペースの優先配分権や URA（University Research Administrator）など専門職員の支援などを受けることができます。

DP・DR の人数は、本学教員の約 2% に相当する 30 人程度を想定。対象は本学所属の専任教員。任期は DP が 5 年間、DR が 3 年間。

【制度の趣旨・目的】

広島大学の研究力強化にあたっては、研究拠点形成と共に個々の研究者による活発な活動が不可欠であり、優れた人材の確保と的確な研究支援を組織的に機能させる必要があります。この目的の達成のため、重点的に取り組むべき研究を行う特に優れた教授職を DP として、また、将来 DP として活躍しうる若手人材が研究に専念できる環境を創出するため、特に優れた若手教員を DR として認定する制度を、平成 24 年度に創設。

【お問い合わせ先】

学術・社会産学連携室 研究企画室

室長 小左古 学

TEL:082-424-5860 FAX:082-424-6990

平成27年度DP及びDR選定一覧

DP : Distinguished Professor (特に優れた研究を行う教授職)

所属	職名	氏名
大学院先端物質科学研究科	教授	高畠 敏郎
大学院理学研究科	教授	深澤 泰司
大学院理学研究科	教授	山本 陽介
大学院理学研究科	教授	井上 克也
宇宙科学センター	教授	吉田 道利
大学院工学研究院	教授	都留 稔了
大学院医歯薬保健学研究院	教授	大段 秀樹
大学院医歯薬保健学研究院	教授	今泉 和則
大学院医歯薬保健学研究院	教授	河野 修興
大学院医歯薬保健学研究院	教授	山脇 成人

計10名

DR : Distinguished Researcher (特に優れた研究を行う若手教員)

所属	職名	氏名
大学院総合科学研究科	准教授	浮穴 和義
宇宙科学センター	准教授	水野 恒史
大学院理学研究科	助教	高橋 弘充
大学院理学研究科	准教授	柳原 宏和
大学院先端物質科学研究科	助教	池田 丈
大学院生物圏科学研究科	准教授	島田 昌之
大学院生物圏科学研究科	准教授	和崎 淳
大学院生物圏科学研究科	准教授	杉野 利久
大学院工学研究院	准教授	荻 崇
大学院工学研究院	准教授	大山 陽介
大学院工学研究院	准教授	片桐 清文
大学院医歯薬保健学研究院	准教授	大上 直秀
大学院医歯薬保健学研究院	助教	柳瀬 雄輝
大学院医歯薬保健学研究院	准教授	細井 徹
大学院医歯薬保健学研究院	准教授	古武 弥一郎
大学院文学研究科	准教授	太田 淳
大学院社会科学研究科	准教授	早川 和彦

計17名

DR : 平成25年度選定分からの継続者

部局	職	氏名	支援期間
大学院先端物質科学研究科	教授	中島田 豊	平成30年3月まで

計1名

広島大学が誇るトップ研究者

当該研究分野の世界的リーダーとして顕著な研究業績をあげ、本学を代表する研究者。



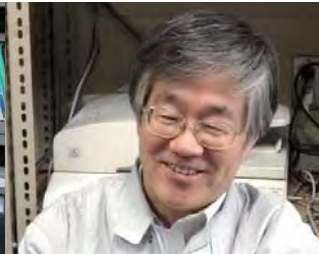
宇宙物理学
理学研究科
深澤 泰司 教授

フェルミ衛星国際チームの日本側代表者となるなど、科学衛星を用いた高エネルギー宇宙ガンマ線天体観測分野にて国際的に広く認識されている。



光赤外線天文学
理学研究科
吉田 道利 教授

宇宙高エネルギー突発天体の多波長連携観測体制を新たに構築。国立天文台すばる望遠鏡を含めて装置開発から観測研究まで幅広く活躍。現宇宙科学研究センター長。



有機化学
理学研究科
山本 陽介 教授

炭素の超原子価 5 配位化合物の単離・構造決定に世界で初めて成功。有機・無機化学境界領域において日本を代表する研究者のひとり。



分子磁性体
理学研究科
井上 克也 教授

キラル磁性体の設計・構築に世界で初めて成功。新機能磁性分野において常に独創的な方向性をもって最先端の研究領域を開拓。



磁性物理学
先端物質科学研究科
高島 敏郎 教授

希土類やアルカリ土類金属を内包するカゴ状化合物の単結晶化に成功し、その磁性と熱電物性の研究において世界トップクラスの研究を牽引。



膜分離工学
工学研究科
都留 稔了 教授

無機および有機無機ハイブリッド材料を膜材料として用い、分子混合物の分離に関する研究を推進。特に透過機構に関する研究は先駆的に取り組み、国内外で高い評価。



肝臓外科学
医歯薬保健学研究院
大段 秀樹 教授

数々の症例の肝臓移植に携わり、移植成績の向上に貢献。拒絶反応の正確な診断に有用な診断法や治療手段を開発・臨床応用など最先端研究者として世界をリードする研究、臨床を実施。



細胞生物学
医歯薬保健学研究院
今泉 和則 教授

小胞体の機能異常(小胞体ストレス)と病態との関連を明らかにするなどマイルストーンとなる成果を収め世界的リーダーとして研究を展開。次世代の医薬品開発に結実するものと大きな期待が寄せられている。



呼吸器内科学
医歯薬保健学研究院
河野 修興 教授

肺がんや間質性肺炎など難治性呼吸器疾患の診断法や治療標的となりえるバイオマーカーの探索と臨床応用研究を展開。メタボリック・シンドローム、糖尿病、循環器疾患などに及ぼす影響についても独創的な研究を推進。



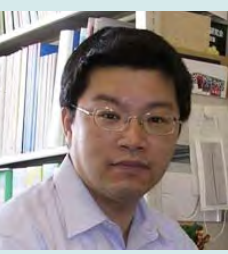
精神神経医科学
医歯薬保健学研究院
山脇 成人 教授

うつ病の脳科学研究の第一人者であり精神薬理学、脳機能画像解析学などを統合した臨床研究を展開。また、がん患者の心の医学(サイコオンコロジー)のわが国のバイオニアであり、日本のがん緩和医療の発展に大きく貢献。

平成 27 年度
認定者 10 名

広島大学が誇る若手研究者

研究プロジェクトを中心となって推進し優れた研究業績をあげ、本学を代表する若手研究者。



本能行動の発現メカニズム
総合科学研究科
浮穴 和義 准教授



動物生殖学
生物圏科学研究科
島田 昌之 准教授



化学・材料工学
工学研究院
片桐 清文 准教授



近代東南アジア史
文学研究科
太田 淳 准教授



銀河宇宙線研究
理学研究科
水野 恒史 准教授



植物栄養学・土壌微生物学
生物圏科学研究科
和崎 淳 准教授



病理診断 腫瘍病理学
医歯薬保健学研究院
大上 直秀 准教授



計量経済学
社会科学研究科
早川 和彦 准教授



X線・ガンマ線観測
理学研究科
高橋 弘充 助教



酪農栄養学
生物圏科学研究科
杉野 利久 准教授



生細胞センサの開発と医療応用
医歯薬保健学研究院
柳瀬 雄輝 助教



発酵工学・生物化学工学
先端物質科学研究科
中島田 豊 教授



数理統計学
理学研究科
柳原 宏和 准教授



高機能・省資源化技術の構築
工学研究院
萩 崇 准教授



難病の包括的治療薬開発
医歯薬保健学研究院
細井 徹 准教授



融合デバイス開発
先端物質科学研究科
池田 丈 助教



蛍光性色素の新機能発掘
工学研究院
大山 陽介 准教授



化学物質の神経毒性解明
医歯薬保健学研究院
古武 弥一郎 准教授

認定者 18 名

(平成 27 年度 17 名
平成 25 年度認定 1 名)

※平成 25 年度認定からの継続

広島大学が誇るトップ研究者

本学の特に優れた研究者および研究課題に対して、研究拠点の構築や研究環境基盤の整備などの重点支援により、研究活動の活性化を目指します。



社会認識教育学
教育学研究科
池野 範男 教授

近年注目を集める新しい学問「シティズンシップ教育」を通してこれからの担う人材の育成に寄与。



物質科学工学
工学研究院
大下 浄治 教授

有機電子材料の開発で環境への負荷を減らし、暮らしをより便利に。新機能を持った薄膜という世界レベルの研究。



社会文明
総合科学研究科
隠岐 さや香 准教授

科学者という職業がいかにも生まれ、社会的な位置を獲得していったのか。科学の歴史を社会との関わりと共に解明する。



分子生命機能科学
先端物質科学研究科
黒田 章夫 教授

タンパク質を進化させる進化学、人工的に組み立てる分子工学。新しい分子を作って環境医療に役立てる。



宇宙・素粒子科学
理学研究科
杉立 徹 教授

ビッグバン直後の一瞬を地上で再現。原子核物理学という分野で人類普遍の謎に挑む最先端の研究をリードする。



半導体集積科学
先端物質科学研究科
三浦 道子 教授

家電・自動車・携帯電話などの開発に欠かせない半導体設計に必要な、革新的なトランジスタモデルを開発し、国際標準モデルに選出。



基礎生命科学
医歯薬保健学研究院(医)
安井 弥 教授

病理学的な方面から、がんのOmics研究を推進。がんの診断・治療に応用し、先進医療開発に寄与する。



海洋生態系評価論
生物圏科学研究科
上 真一 教授

エチゼンクラゲの生態解明に世界で初めて成功。さらに、発生予報体制の構築で被害防止に貢献。「大里海の再生」、そして国際展開をめざす。



分子発がん制御研究
原爆放射線医科学研究所
神谷 研二 教授

放射線発がんのメカニズムの解明に向けて生命現象の不思議に迫る。世界をリードする被爆地・広島での最先端研究。



応用生命科学
医歯薬保健学研究院(医)
茶山 一彰 教授

ウイルス性肝炎治療のエキスパートとして世界を牽引する存在。先駆的研究を推進し、肝炎ウイルスの根絶をめざす。

研究者の個性を生かすDP制度

DP制度は、広島大学の「個性ある研究拠点形成」には、個々の研究者の活発な活動が不可欠であるという視点から、優れた人材の確保と的確な研究支援を組織的に機能させるため、重点的に取り組むべき研究を行う特に優れた教授職をDP (Distinguished Professor) として認定するものです。

各研究者の詳しい研究内容は広島大学公式ウェブサイト「研究推進機構」▶「DP・DR制度」にてご覧頂けます。

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/orp/DPDR/>